



平成30年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年5月14日

上場会社名 大和冷機工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6459 URL <http://www.drk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 敦史

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長 (氏名) 中津留 彰伸

TEL 06-6767-8171

四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の業績(平成30年1月1日～平成30年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	8,537	3.4	1,023	0.1	1,036	0.6	690	0.1
29年12月期第1四半期	8,256	1.3	1,022	4.9	1,042	5.1	689	5.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	13.44	
29年12月期第1四半期	13.42	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	71,004	61,000	85.9
29年12月期	71,380	60,834	85.2

(参考)自己資本 30年12月期第1四半期 61,000百万円 29年12月期 60,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		5.00		10.00	15.00
30年12月期					
30年12月期(予想)		5.00		5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,460	2.0	2,824	2.0	2,855	1.5	1,928	2.0	37.55
通期	38,700	2.0	5,514	2.1	5,577	2.0	3,870	2.0	75.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期1Q	51,717,215 株	29年12月期	51,717,215 株
期末自己株式数	30年12月期1Q	367,172 株	29年12月期	367,064 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期1Q	51,350,110 株	29年12月期1Q	51,350,927 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記に記載した予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(第1四半期累計期間)	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
3. 補足情報	5
品目別売上高	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による各種政策の効果もあり、企業収益や雇用情勢が改善し、景気面では回復基調が続きました。一方、米国の政策動向や中国経済の下振れ懸念等、わが国経済を下押しするリスクにより、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社を取り巻く環境は、主要取引業種である外食産業、食品業界や一般小売業等にあっては、個人消費の底堅い動き、外国人観光客の増加が売上に寄与したものの、低価格志向がいまだに根強いことに加え、業種業態を超えた競争の激化や、深刻な人手不足の影響による採用難及び人件費の上昇、原材料価格値上に伴うコストアップ等により、引き続き厳しい経営状況にありました。

このような状況のもと、当社は新カテゴリーの製品として、ランニングコストの大幅削減を可能とする無沸騰型自動茹麺機を市場投入し、新規需要の獲得に努めました。また、2017年度グッドデザイン賞を受賞した自動スライド扉冷蔵庫、及び調理器具や食材の殺菌に効果的な電解次亜水生装置等により、省スペース化や衛生管理に対する顧客ニーズにお応えし、顧客満足度の向上に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期累計期間における業績につきましては、売上高8,537百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益1,023百万円（前年同期比0.1%増）、経常利益1,036百万円（前年同期比0.6%減）、四半期純利益690百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は、前事業年度末と比べて375百万円減少の71,004百万円となりました。

この主な要因は、受取手形及び売掛金の増加340百万円、棚卸資産の増加307百万円、投資有価証券の増加1,485百万円、長期預金の増加1,000百万円、現金及び預金の減少3,580百万円であります。

(負債)

負債は、前事業年度末と比べて541百万円減少の10,003百万円となりました。

この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少570百万円であります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末と比べて166百万円増加の61,000百万円となりました。

この主な要因は、利益剰余金の増加176百万円であります。これらの結果自己資本比率は前事業年度末と比べて0.7ポイント増の85.9%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月14日に発表いたしました、平成30年12月期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,157,395	42,576,815
受取手形及び売掛金	4,106,953	4,447,360
商品及び製品	1,752,710	2,051,488
仕掛品	298,172	300,089
原材料及び貯蔵品	503,656	512,443
点検修理用部品	189,414	187,777
その他	610,435	693,589
貸倒引当金	△634	△563
流動資産合計	53,618,104	50,769,000
固定資産		
有形固定資産	9,220,202	9,199,924
無形固定資産	140,499	161,997
投資その他の資産		
投資有価証券	701,141	2,186,520
長期預金	7,000,000	8,000,000
その他	779,871	770,385
貸倒引当金	△79,771	△83,207
投資その他の資産合計	8,401,241	10,873,697
固定資産合計	17,761,943	20,235,619
資産合計	71,380,048	71,004,620
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,010,803	4,440,420
未払法人税等	850,367	527,627
引当金	352,990	748,250
その他	2,948,077	2,977,153
流動負債合計	9,162,239	8,693,451
固定負債		
退職給付引当金	141,804	59,462
役員退職慰労引当金	1,232,091	1,241,526
その他	9,250	9,250
固定負債合計	1,383,146	1,310,239
負債合計	10,545,385	10,003,690
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,907,039	9,907,039
資本剰余金	9,867,880	9,867,880
利益剰余金	41,237,397	41,413,937
自己株式	△209,300	△209,433
株主資本合計	60,803,016	60,979,424
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31,645	21,505
評価・換算差額等合計	31,645	21,505
純資産合計	60,834,662	61,000,929
負債純資産合計	71,380,048	71,004,620

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	8,256,918	8,537,940
売上原価	3,233,839	3,409,090
売上総利益	5,023,079	5,128,850
販売費及び一般管理費	4,000,293	4,104,943
営業利益	1,022,785	1,023,906
営業外収益		
受取利息	3,689	7,361
受取配当金	432	807
スクラップ売却益	13,609	13,910
その他	20,753	15,633
営業外収益合計	38,484	37,713
営業外費用		
スクラップ処分費	13,670	15,968
その他	4,939	8,869
営業外費用合計	18,610	24,837
経常利益	1,042,659	1,036,782
特別利益		
固定資産売却益	-	829
特別利益合計	-	829
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純利益	1,042,659	1,037,612
法人税、住民税及び事業税	459,687	462,774
法人税等調整額	△106,191	△115,203
法人税等合計	353,495	347,571
四半期純利益	689,164	690,041

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

品目別売上高

品目		当事業年度 (自 平成30年 1月 1日 至 平成30年 3月31日)	
		金額 (千円)	前年同期比 (%)
製品	厨房用縦型冷凍冷蔵庫	2,459,611	108.0
	店舗用縦型ショーケース	1,458,820	96.4
	厨房用横型冷凍冷蔵庫	802,851	110.2
	製氷機	604,188	98.4
	その他	762,776	91.5
	小計	6,088,246	102.0
商品	店舗設備機器	796,445	122.9
	厨房設備機器	693,443	98.2
	店舗設備工事	41,828	123.8
	小計	1,531,717	110.3
点検・修理等		917,975	102.0
合計		8,537,940	103.4